



| | |
|-------------------|----------------|
| ファームウェアバージョン: | V4.1.0.8 |
| 対応製品/ハードウェアバージョン: | DWS-4026 : A1G |
| 発行日: | 2012/6/22 |

本リリースノートには、D-Link 製ワイヤレススイッチ及びアクセスポイントのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のワイヤレススイッチ及びアクセスポイントに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいワイヤレススイッチ及びアクセスポイントにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。

ワイヤレススイッチ及びアクセスポイントに関する詳細な情報が必要な場合は各“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

| | |
|--------------|---|
| 変更履歴とシステム要件： | 2 |
| 追加機能： | 2 |
| 修正した問題点： | 3 |
| 既知の問題： | 4 |

変更履歴とシステム要件：

| ファームウェアバージョン | リリース日付 | モデル | ハードウェアバージョン |
|-----------------|-----------|----------|-------------|
| ランタイム: v4.1.0.8 | 2012/6/22 | DWS-4026 | A1G |

注意：本ファームウェアバージョンで DWS-4026 からの DWL-8600AP の管理機能をご利用頂く場合、DWS-4026 と DWL-8600AP のファームウェアバージョンは同じバージョンである必要があります。

そのため、アクセスポイントのファームウェアを 4.1.0.8 にファームアップした後、ワイヤレススイッチ DWS-4026 を 4.1.0.8 にファームアップするまでの間、ワイヤレススイッチからの管理はできませんので予めご了承ください。

R3.0.0.x からのファームアップの場合のみ、設定は保持されます。

ファームアップ前に設定情報のバックアップを行ってください。

追加機能：

| ファームウェアバージョン | 追加機能 |
|--------------|---|
| V4.1.0.8 | <ol style="list-style-type: none"> 1. スイッチ日時設定をサポート致しました。－ 管理者は、WebUI で現在の日時をスイッチ上で設定することができます。CLI、SNMP ではサポートしていません。 2. SNTP クライアントはタイムゾーン（UTC からのオフセット）を表示し、サマータイムをサポートするように対応致しました。 3. “show nvram-size” CLI コマンドで NVRAM サイズ情報を表示できるように致しました。 4. SNMP MIB ファイルは.my 拡張子の代わりに.mib ファイル拡張子を持つように変更致しました。AP の MIB ファイルについても同様の拡張子となります。 5. スイッチの管理者ユーザ名が admin で、パスワードが空欄である場合に Null ユーザ認証を許可するよう致しました。管理者は空欄ユーザ名とパスワードを使って WebGUI にログインするもしくはシリアルコンソールにログインすることができます。Null ユーザは管理者ユーザと同様の権限を持ちます。Null ユーザ認証は以下のケースでは許可されません。 <ul style="list-style-type: none"> - 管理者ユーザのパスワードが空欄でないパスワードに変更された場合 - 管理者ユーザ名が管理者以外のユーザ名に変更された場合 6. 座標もしくはフロアプラングラフィック経由でワイヤレスクライアント、AP、不正 AP のロケーションを追跡することに対応致しました。 7. 電力予約、電力プライオリティづけ、電力制限を管理できるように致しました。管理者はそれぞれの PoE ポートに対し、プライオリティをアサインすることができます。 8. Radio resource management 機能を有効にすることでローミングを判断する情報をワイヤレスクライアントに提供するように致しました。 9. 802.1X 認証クライアントへの VLAN が RADIUS サーバからアサインされ、DWS 上にその VLAN が存在しない場合、ダイナミックに VLAN を作成して追加する機能を追加致しました。VLAN ID のみをサポートしています。 10. IPv6 ネットワークを介してサービスやネットワークポートを利用するすべてのノンルーティング機能を許可するルーティング用の IPv6 管理 FLEX パッケージを実装致しました。 11. 既存の Client association Trap（Trap 及び Syslog）に以下の情報を追加致しました。 <ul style="list-style-type: none"> - クライアントがアソシエートした SSID - クライアントが利用している認証方式 |

| | |
|--|--|
| | <p>12. New Client Association Failure 及び Client Authentication Failure Trap に以下の情報を追加致しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> - クライアントが利用している認証方式 - クライアントが利用している認証方式 <p>13. 異なるタイプの AP 数の観点での Local AP データベースのサマリを WebUI で表示するように対応致しました。</p> <p>14. RADIUS Fail-through 及び Failover に対応致しました。</p> <p>セカンダリもしくはバックアップ RADIUS サーバを WPA-Enterprise セキュリティを利用するワイヤレスクライアント用に定義することが可能です。Fail-through の動作では、ユーザがプライマリサーバにより認証に成功しなかった場合、クライアントからの再認証リクエストを受け取った後、認証要求はセカンダリサーバに送信されます。すべてのサーバで認証に成功しなかった場合、クライアントからの認証要求は破棄されます。Failover の動作では、なんらかの理由によりプライマリサーバが利用できない場合にセカンダリサーバに認証要求が送信されます。</p> <p>15. WebUI 上で認証に失敗した AP の数及び 802.11n でアソシエートしたクライアントの数を表示するように対応致しました。</p> <p>16. AP の Software Download ページのコンボボックスの Managed AP を <MAC アドレス> - <IP アドレス> - <ロケーション> フォーマットで表示するように対応致しました。</p> |
|--|--|

修正した問題点：

| ファームウェアバージョン | 修正した問題点 |
|--------------|--|
| V4.1.0.8 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 3~4MB のサイズのイメージファイルをダウンロードしてしまった場合にスイッチがクラッシュする問題を修正致しました。(2MB までしかサポートしていません) 2. 管理 AP の設定を変更し、AP を再起動するとスイッチがクラッシュする問題を修正致しました。 3. Openload を実行するとクラッシュする問題を修正致しました。 4. Network Visualization ドラッグ＆ドロップ機能が JavaSE6 Update23 (1.6.0_23) で動作せず、エラーも出なかった問題を修正致しました。 5. RADIUS での AP 認証において RADIUS_MSG_SEND_FAILED が表示される問題を修正致しました。 6. WPA2-Enterprise を使ったローミングを実行した際に、250 ミリ秒以上の遅延が発生する問題を修正致しました。 7. ハードウェアタイプコマンドが正しく保存されず、スクリプト適用が失敗する問題を修正致しました。 8. Captive portal 最大帯域制限の問題を修正致しました。 9. PMTU 設定を変更した場合に、STA が CP 認証なしにネットワークアクセスできる問題を修正致しました。 10. L2 トンネル統計が正しくなかった問題を修正致しました。 11. 読み取り専用ユーザが Network Visualization のアプリケーションを読み書きできる問題を修正致しました。 12. Network Visualization において、MAP からクライアントがディスアソシエートした場合に、図が更新されない問題を修正致しました。 13. ネットワーク Mutual Authentication ステータスで“Complete with Errors”になっているが、どんなエラーかを示していない問題を修正致しました。 14. AP Authentication Failure Status で“AP Relink”と表示されるが、ヘルプページに理由の |

| | |
|--|---|
| | <p>リストがなかった問題を修正致しました。</p> <p>15. TSPEC-UWS において、ローミングリザーブ制限機能が動作せず、新しい AP がローミングしたクライアントに帯域を許可しなかった問題を修正致しました。</p> <p>16. GUI を使って Push した場合に、過度の時間がかかる問題を修正致しました。</p> <p>17. アソシエートしたクライアントが“Rogue”としてリストされる問題を修正致しました。</p> <p>18. “grant”に設定された RADIUS クライアントが VAP へのアクセスを拒否される問題を修正致しました。</p> <p>19. 大きいサイズの CP イメージをロードした場合にピア接続が失われる問題を修正致しました。</p> <p>20. AP Profile->QoS を工場出荷時設定に変更した場合、Summary タブは変更を表示しない問題を修正致しました。</p> <p>21. クライアントが同じ SSID を持った非管理の AP にアソシエートした場合に、管理 AP から Spoofed De-auth メッセージを見ることができない問題を修正致しました。</p> <p>22. ワイヤレススイッチの最大管理 AP 数に達した場合やクラスタの最大値を超えた場合に Syslog メッセージを出さない問題を修正致しました。</p> <p>23. 802.1X 認証に失敗する問題を修正致しました。</p> <p>24. スイッチで複数の AP を選択した後、一つの AP にだけ反映する問題を修正致しました。</p> <p>25. RADIUS アトリビュートを利用してクライアント QoS の帯域パラメータのアサインに失敗する問題を修正致しました。</p> |
|--|---|

既知の問題：

| ファームウェアバージョン | 既知の問題 |
|--------------|---|
| V4.1.0.8 | <ol style="list-style-type: none"> ファームウェア R1.xx から 3.0.0.x 以上にアップデートする際に、一部もしくは全ての無線設定が消失してしまう問題。 【対処方法】下記の手順に従い、行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> コンソールポート経由で CLI を使用して、対処します。 アップグレードの前に、“show running-config”を実行し、テキストエディタ内の出力内容をキャプチャします。 ファームウェアを R1.xx から R3.0.0.16 のファームウェアにアップグレードします。イメージをブートイメージとして選択し、スイッチをリブートします。 再び CLI を使用し、2.で出力した内容をペーストすると、設定がリストアされます。 R3.0.0.16 から R4.1.0.8 へアップデートを行います。 クライアントセキュリティ事前認証履歴に関する問題 b/g/n 帯での WPA2-PSK においてローミングに時間がかかる問題 Probe リクエストの記録された値が正しくない問題。 ネットワークパラメータ“ignore broadcast”が AP に設定されない問題。 AP の最大管理数を超えた場合に、実際にはエントリーにあるが、レポートされる Failure 内容が稀に“No database entry”となる問題。 VLAN 設定において“Tagging ALL”を設定しても実際は Tagging all が設定されない問題。 Channel management ページでは 8 個の AP を表示するが 11AP 表示されている問題。 |

Copyright 2006–2012 D-link Japan K.K.